

令和6年度

各いのち・愛・ゆめセンターにおける主な独自事業

館名	豊川いのち・愛・ゆめセンター	沢良宜いのち・愛・ゆめセンター	総持寺いのち・愛・ゆめセンター
事業名	とよかわシニアディスコ！	多文化さわらぎ おにぎりを たべよう はなそう	①あいカレッジ ②能登へのメッセージ
内容等	<p>内容：高齢者をメインターゲットに置いたダンスイベント。「とよかわのおばあちゃん、おじいちゃんも来て楽しんでもらい、新鮮な刺激を得られるイベントにする。」を目的に、地域の福祉の協議体と文化部門（ダンス指導者・DJ・バーテン）がコラボをして実施。健康に気遣い元気でいてくれる高齢者へのご褒美、誰にでも安心して楽しんでもらう場所の提供、また、デイサービス等の日常とは違う刺激を得る機会となった。</p> <p>実績 参加者36人、スタッフ21人</p>     	<p>内容：■令和5年度からプレ事業として実施 外国にルーツのある人とその家族が、安心して地域で暮らしていけるよう、サポートしたいと考え、いつでも気軽に集える場所（仲間がいる何でも話せる場所）を作りたいと動き出す。2か月に1回のペース</p> <p>■令和6年度から本格実施（毎月1回実施） 交流を図る方法として、おにぎりを食べながら、お茶をしながらという、リラックスして話せるような機会（場所）を提供し、実施した。</p> <p>地域や学校等と連携して、そういう人を掘り起こし、相談につなげたいと思い行動しているが、該当する人がいても、なかなか会の参加までには繋がらないことや継続した参加にはなっていない。</p> <p>■実績：5月15人、6月23人、7月5人、8月8人、9月14人、10月5人、11月5人、12月7人、1月7人、合計 99人</p> <p><u>今年度、長年見守って来たご家族が、参加してくれたことが非常に嬉しかった。</u></p>  <p>10月から配置された外国人総合相談窓口の職員との連携によって、今後、参加者が増えて行くのではないかと予想しており、来年度も力を入れて取り組んでいきたい。</p>	<p>内容①：別館で実施しているユースプラザ事業によって、概ね中学生～39歳の子ども・若者の居場所機能を担っているが、小学生の居場所・地域での学習の場が不足していることから、令和6年度より「あいカレッジ」を開催。</p> <p>毎週水曜日の午後に館内の一部屋を子どもに解放し、地域住民の方が一緒に宿題を見たり、昔遊びをしたりする交流の場を設けた。</p>   <p>内容②：令和6年1月1日に発生した能登半島地震について、利用者から「ボランティア等の支援に行きたいが中々難しい」等の声があったことから、能登にメッセージを届ける「能登に届け！ 応援メッセージ」を実施中（3月まで）。被災地への思いを集めるとともに、防災意識の向上や日々のつながりの大切さについても意識できるよう取組を行っている。</p> <p>能登に届け！ 応援メッセージ</p> 